

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 1 | オンライン | <p>基本的に、一貫の学校に移行する事については賛成です。ただ、施設建設について意見があります。2ヶ所、新しく校舎を新設されるみたいですが、今ある校舎の活用は考えないですか？増設などです。学校の新設は莫大な建設費がかかるでしょうし、今ある、旧の校舎を維持していく(きっと災害時などの避難所や何かになるのでしょうか?)ことも必要で、維持に金額がかかりますよね？それを子ども世代に負担させるのは負の遺産と同じで好ましくないと考えます。残されたハコモノの活用も併せて、考えたらいかがでしょうか。(活用は教育委員会だけが考えることではなく、民間も含めて地域全体で考えていくのがいいと思います。)</p> |
| 2 | オンライン | <p>1 意見募集の動画の最終頁の募集期間が誤っている。【誤】1月20日(水) 【正】1月20日(木) このような誤りがあると、当動画の内容や当計画案等がしっかりと精査されているのか信頼性、信憑性、正当性を失う。</p> <p>2 地頭方小学校・御前崎中学校よりもまずは牧之原小学校・牧之原中学校が再編され、相良地区・榛原地区に編入するのが当然牧之原地区の人口は2,000人程度。牧之原市の人口の10%にも満たない。高台開発が成功したとしても面積的に見ても居住人口は数百人程度しか増えないと思われる。一方、地頭方地区の人口は約5,000人程度。地頭方地区の小学校・中学校が再編されるのであれば、牧之原小学校・牧之原中学校を真っ先に再編するのが当然である。牧之原小学校・牧之原中学校のみを特別扱いするのは合理性が無い。</p> <p>3 榛原地区の再編移転先が都市計画法上の用地地域外。常識的に考えて移転先候補としてはあり得ない。この計画どおりの場所に移転した場合、沿岸部の用途地域内の人口が加速度的に減少することは間違いない。学校、特に小学校(中学校)は、児童生徒をはじめそこに居住する市民の生活に密着している。移転するのであれば榛原地区の現在の用地地域内もしくはそれに接する場所に移転するのが合理的。</p> <p>4 相良地区については、相良小学校・相良中学校とも相良城址に位置しており、校章も田沼意次公の七曜紋をかたどっている。歴史ある相良地区の誇りである相良城址から移転することについて地域のアイデンティティの崩壊の一因になりかねない。教育の場は、ただ単にその場所があればよいということではなく、歴史的、地政社会学的に位置づけられた場である。そういった地域の歴史や文化を大切にしない移転は教育の場として適切では無い。</p> <p>5 地頭方地区をはじめ榛原地区、そして相良地区の沿岸部に居住する市民の日常生活や資産価値が考慮されずに学校の移転先候補が定められている。相良小学校・中学校、川崎小学校、細江小学校は用地地域内でも人口集中地区内にある学校である。移転ではなく、沿岸部のL2対応の防潮堤整備を早急に行い、これからも沿岸部に居住している全人口の約7割を占める既存の牧之原市民が安全に暮らしていけるまちづくりをすべき。</p> <p>6 当計画案は、学校の存在意義を軽んじている。ただ単に学校教育の場ではなく、そこに住む地域住民のアイデンティティであり街づくりの中心をなす存在である。学校があることにより周辺地域の資産価値が上がり、そこに居住する人がいて住み続けている人が現在もたくさんいることを熟慮すべき。</p> <p>7 当計画案は、牧之原市の人口の約7割が集中して居住している沿岸部の市民生活が考慮されず、牧之原市の人口の1割にも満たない牧之原地区のみが特別優遇扱いされているアンバランスな計画である。今現在、牧之原市に居住している多くの市民の生活を第一に考え、根本から再考すべき計画案である。</p> |
| 3 | オンライン | <p>榛原と相良それぞれでの仮案みましたが、自身としてはこちらのかりあんには反対で、各小学校での中学までの所と学校をごうへいさせての中学までの所がいいと思います。例えば菅山小学校は中学までにするとかです 通う子供達の意見も取り入れたうえでより良いかたちがいいと思います。</p> |
| 4 | オンライン | <p>牧之原小学校区なのですが、反対です。 特殊な環境なので、地区や地元の付き合いがバラバラになってしまいます。 牧之原大地の地盤は岩盤で、海拔も高く防災面で比較的安全です。なぜ自分たちが住んでいる場所よりも危険な場所に子供たちを通わせなければならないのですか？意味が分かりません。地震が来たら、津波が来たら、子供たちが巻き込まれてしまったら市は責任を取ってくれるのですか？もしも子供たちが死んでしまったら生き返らせてくれますか？大地の上は高台開発で発展させたいのでは無いのですか？矛盾していませんか？寝言は寝てから言え！！！！！！ふざけるな！！！！！！！！！！以上です。</p> |
| 5 | オンライン | <p>校歌を谷川俊太郎氏に作詞してもらえたらいいと思います</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 6 | オンライン | 学区の撤廃、再考も同時に考えて頂きたいです。 |
| 7 | オンライン | 通学路に街頭が少ないのが気になります。距離が遠くなり、小学生には酷かと思えます。バスをだしてください。 |
| 8 | オンライン | 学校予定地や建設にあたり、一部の会社が利益を独り占めしないようお願いしたい。 地頭方地区や牧之原地区を置き去りにしないよう進めて欲しい。 スクールバス等移動手段で負担を強くないでいただきたい。 しっかりと動向を観ておりますので宜しくお願いします。 |
| 9 | オンライン | 相良区です。 場所はい〜らから総合グラウンドとのことですが、地震や津波での避難生活を考えた時に、低地に住む須々木区、波津区からたくさんの方が一番近くの高いところを目指すと思います。 数時間数日間、浸水していないところを通り家族を探すとなるとい〜ら周辺が良いと思います。 ミルキーウェイを通れると言われそうですがミルキーウェイは浸水するのでは… 津波浸水想定区域外でも津波が来た時にミルキーウェイには怖くて避難できません。よろしくお願ひします。 |
| 10 | オンライン | 友達が増えるのでとても良いことだと思いますが、バス通学が増えるため、その分運動する機会を増やした方が良いと考えます。 また、教師の数がどうなるのかもきになります。必要最低限ではなく、充実した配置ができるが良いと思います。 |
| 11 | オンライン | やはり子供の安全を1番に考えて、今の時代いつ何の災害がおきてもおかしくない世の中で、今の牧之原保育園、小学校、中学校の場所が地盤も良く、海から遠いのでわざわざ海に近い場所になるというのが納得出来ません。場所を変えるにしても山の上の安全な場所になるというのなら通学が遠くなくなってしまっても仕方ないとは思いますが、津波の危険のある場所に移るのは反対です。 |
| 12 | オンライン | 9年間給食にしていただけると助かります |
| 13 | オンライン | 牧之原小学校と牧之原中学校はどうなりますか？榛原地区と相良地区のどちらにもありませんが、今のまま残ると言う事ですか？ |
| 14 | オンライン | 息子が地頭方小学校に通ってます。地頭方小学校だけ相良の外れなので、近くの御前崎中学校に移転したらどうでしょうか？今地頭方小学校は中学校は御前崎中学校に通ってます。うわさでは御前崎中学校も何年か後浜岡中学校と一緒になるようなことも聞きます。でも今でも空いている部屋もあるので、そうならないとしてもそのまま使えると思います。高台なので、津波の心配ありません。もしできたら、御前崎中学校の近くか、その校舎で、白羽、御前崎小学校と一緒に小学校統合されても中学校の通学区域なので、私達親としては構わないと思います。 |
| 15 | オンライン | 発達障害や診断がつかないグレーゾーンの子供、特性がある子供も通いやすい配慮がある学校だと嬉しいです。 通級指導教室などが小学生だけでなく中学生もうけられるよう、また年数制限など設けないでほしいです。特性がある子が、大きな学校のために取り残されないようにしてほしいです。 また住んでいる地域から学校が少し離れてしまっていますが、今まで通り、住んでいる地域に根付いた体験、果物かきや、地域の商店街などに行ったり、地域愛を残すような取り組みをしてほしいです。 |
| 16 | オンライン | 人数が多くなるといじめが絶対にあるので不安。先生、学校側がしっかりとしてくれないと親は不安です。隠蔽されたことがあるし、実際にしている学校もある。汚いことは親は見逃さないとすよ。 |
| 17 | オンライン | 通学エリアが広がることにより、徒歩通学、バス通学に別れることになると思われます。通学距離による生徒の負担差、家庭の負担差、通学費の負担差等、格差が出ないようにしていただきたいです。 格差が出てしまうと地域の過疎化も出てくると考えられます。 |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 18 | オンライン | <p>・勉強のできる子やもっと自由研究などをもっと深めてやりたい子に資料やサポートしてくれる方がほしいです。</p> <p>・地頭方など、学校から離れている地区の地域住民もサポート要員として学校へ参加をして行きたいです。</p> <p>・障害のある子も医療ケア児も通える、高齢者デイケア（高齢者のパワーリハビリや、リハビリプログラムなど）もする部屋など、多様性のある方々が集える学校になってほしいです。</p> <p>・いじめる子もいじめられる理由があるから、心のサポートをしてほしいです。いじめた子の気持ちも考える機会がほしいです。</p> |
| 19 | オンライン | <p>小中一貫教育ということですが、中学校を私立に受験する子もいる前提でのカリキュラムを検討ください。</p> |
| 20 | オンライン | <p>望ましい教育のあり方・学校再編計画と長期的なスパンで市のビジョンを示し、丁寧に対応いただきありがたいです。</p> <p>学校再編については必要不可欠なことだと痛感しますが、やはり学校現場にいますと、唐突に方針が伝わってくるように感じてしまい、学校関係者（教職員）が受け身の姿勢になってしまうように感じています。それは、学校現場がどうしても現状の諸課題に追われて日々対応しているため、どうしても先のことまで考えられないというのが実状だからです。</p> <p>今後、現場の教職員がこんな学校にしたいという思いを生かしていただく機会、場、組織をつくることで解消していくのではないかと感じます。風は内側から巻き起こさないと渦にならないと思います。ただ、負担感で持続しない取り組みだけでは十分な御配慮いただき、今後の再編計画が夢あるものになることを期待しています。</p> <p>お願いですが、今の学校にも魅力を感じることができるよう再編計画以外で現在の学校現場が困っていることへの速やかな対応を確実にお願いします。中学校では特に部活動の方向性が働き方改革に大きくつながると感じますが、その辺への対応の歩みが遅いのではないかと危惧しています。</p> <p>最後に再編されると、学校の規模は大きくなりますが、学校数は極端に減るため、今までの校長会組織を始め教育会などの組織対応が難しくなると感じています。また、榛原地区として吉田町、川根本町と一緒に括りで諸事業を進めている部分もあるため、今後はこの榛原地区をどうしていくのかと言うことも大きな課題となってきます。よって、再編計画と同時に今ある組織をどのようにしていくのかの方向性も定めていくことが必要になると考えます。</p> |
| 21 | オンライン | <p>学校再編計画の動画も見ました。</p> <p>分かりやすく、これから自分の子どもを小学校や中学校に入れる親の心配なども含めてよくわかりました。小規模の学校の良さも分かります。しかし、学校が家庭と同じでは良くないと思います。集団の中で喧嘩をして、初めてどのように仲直りをするか、いじめられたらどのように逃げるかなど実体験で学べると思います。</p> <p>以上の理由で私は9年間の義務教育学校に賛成です。早期に実現していただきたいです。</p> |
| 22 | オンライン | <p>学校再編には基本的には反対です。結果ありきで計画は進んでいると思われまます。昨年1月に質問状をお送りしましたがその返答もありません。削除されたのでしょうか。</p> <p>コロナ感染対応でそれぞれの学校も大変な状況でしょう。我々医療に従事する者も恐怖の中で仕事をこなしています。濃厚接触者の定義も揺れ動いている今、またPCR検査もいつできるか、陰性証明もいつ届くかわからない状況で1番困っているのは子供たちです。出席停止中の学習、登校許可は…等々早急にどの教育現場も統一されたものを作成し保護者に配布する。今、やるべきことはそこです。6年生 中学3年生は卒業という節目…この子供たちには今しかない卒業という節目を経験させてあげてください。昨年の経験を無駄にしないで下さい。よろしく申し上げます。やはり学校編成には賛成しかねます。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 23 | オンライン | <p>人クラス人数が35人は多すぎると思われます。</p> <p>現在、不登校が増えているのは大人数での学習が難しい特性のある子などグレーゾーンの子などが増えているのでそういった子供たちも平等に苦しくなくなることなく学べる様にするには少人数制のクラスも検討するべきだと思います。</p> <p>不登校、支援学級についての内容が薄いのでもっと深く計画するべきだと思います。</p> <p>弱者を将来、社会で活躍出来る人に育てるには小中9年間はとても大事な時期だと思います。</p> <p>現在、相良中学に支援学級があるにもかかわらず生徒の数が少ないのは中学に上がる時に支援が必要な子供も通常学級に入り、そこで苦しくなり不登校になっていることがあると思います。</p> <p>入りやすい、充実した支援の環境があれば1人で苦しむことなく過ごせることもあるのではないのでしょうか？</p> <p>ただ支援学級を充実させるだけではなく不登校生徒を増やさない取り組みも考える必要があると思います。</p> <p>実際に適応指導教室だけではおぎなえていないのが現状です。適応指導教室にも行けずフリースクールにも行けず、発達障害と認定されていないので放課後デイも利用出来ず家で苦しんでいる子は沢山いるのでその子達にも目をむけた計画をお願いします。</p> |
| 24 | オンライン | <p>牧之原小、中の9年制は反対です。</p> <p>いつも牧之原地区だけ同じ牧之原市でも独立してしまい他の地区と交流がないです。</p> <p>保育園小学校時代で人間関係でつまずくとひとクラスしかないので逃げられませんか。それが原因でよその中学に通う子もいます。</p> <p>部活動も他の中学に比べて生徒数がおらず部活動も選べないので、自分が好きで選んだわけじゃない入りたいものがないから仕方なく入った・・・と子供はモヤモヤしながら3年間部活をやっている状態の子が多いです。</p> <p>大人数の中で、自ら子供が選択出来る機会を牧之原地区の子供達にも与えて頂きたいです。</p> <p>同じ牧之原市でも不公平だと思います。</p> |
| 25 | オンライン | <p>牧之原市情報交流課 牧之原市学校再編計画(案)の動画を見ました。</p> <p>義務教育学校でできること①の小学校が同じ方針で子育てできるとありますが今までは違う方針だったのか、違う方針でどのようなデメリットがあったのか知りたい。</p> <p>中1ギャップでつまづく子が少なくなるとありますが少なくなる根拠を知りたい。逆に増えてしまう危険性はないか。</p> <p>義務教育学校でできること②の学校判断で特色ある教育ができるとありますが文部科学省の許可を得て新たな科ができるまでの期間を知りたい。</p> <p>幅広い年代の交流ができるとありますが幅広い年代の交流が原因でのトラブルはどのように対応していくのか知りたい。</p> <p>コロナ感染症に対応した設備とスペースの確保とありますが今の段階での具体的な案を知りたい。</p> <p>断熱性の確保と冷暖房等による熱中症対策とありますが全教室(音楽室、パソコン室等を含める)にクーラーを設置する予定でいるか知りたい。</p> <p>遠隔、オンライン授業に対応できる設備とありますが全教室(音楽室、パソコン室等を含める)にWi-Fiが繋がる環境を整える予定でいるか知りたい。</p> <p>自転車を利用する学年の設定、バス代の有償無償については来年度から新しい学校ごと協議とありますがバス停、バスの時刻、1日に何本バスが出るのか、乗り遅れた場合はどうすればいいのか知りたい。</p> |
| 26 | オンライン | <p>学校を合併されるのは賛成ですが・・・相良地区は菅山に建てる予定だと聞きましたが、今ある御前崎中学校ではダメなんですか？牧之原市なので校舎も土地もあるのにもったいないと思います！</p> <p>菅山だと、土地購入からですね。体育館は新しいし校舎が古いんであれば校舎だけ建て直せばいいと思うんですが。</p> <p>津波の心配も無いと思います！</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 27 | オンライン | <p>新たな義務教育学校がハード面・ソフト面共に特色ある魅力に満ちた学校になり、それを核として、また、期待してUターン・移住する若者が多く住まう活気あるまちづくりを推進していただきたい。自然のロケーションが最高な土地柄だけに、「教育の充実」を掲げればそれなりに若者は集まると思います。裾野市のウーブンシティ建設を参考にハード・ソフトのインフラ整備、学校を取り巻く住宅地の建設、子育て家庭への税制の優遇や様々な支援制度の創設など、全市を挙げた思い切った施策を打っていけば20年後の市制も安定すると思います。学校づくりはまちづくり・人づくりの基盤です。新たな義務教育学校とそれを取り巻く住みやすく子育てしやすい環境づくりで、いかに人心を惹き付けられるかがカギだと思います。がんばってください。</p> |
| 28 | オンライン | <p>学校再編に望むこと 施設の機能も大切ですが、シンプルで快適であれば、教育の中味や「人」にお金を使ってほしいです。先生が元気がなければ学校に活気は生まれません。子どもたち一人一人をよく見て、認める指導ができるよう、先生の資質の向上を願います。 また、子どもの成長には家庭の力は不可欠です。親そだてと言ったら大げさかもしれませんが、少しだけ家の人を巻き込む宿題を出すなどして、学校を知り、関心を持ってもらい、子どもと共に親も成長していければ、一人や二人は不登校にならずにすむ子どもいるかもしれません。昨年秋のアースランチの取り組みは続けてほしいと思います。発表に至るまでの期間、たくさんの学びが詰まっていたと思います。プレゼンのパフォーマンスにも感動しました。特に相良小は台本を見ずに身振り手振りで表現していて素晴らしいと思いました。未来の子どもたちのための新しい学校づくりーーわくわくします。</p> |
| 29 | オンライン | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー 「今まで以上に時間を確保し」→現状の教員の勤務時間で確保可能なのか、教員の実態把握をできているのか ・ICTを活用した支援 具体的に何をどうやるのか。設備にどれだけの予算を投資できるか、そもそもどういう設備が必要なのか。教員の負担はないのか。ネット環境が整っていない生徒への対処法はどうするか。 ・教室空間の整備 具体的な方法が書かれていない。高速通信可能なネットワークに順応できる端末を生徒側は使用しているのか。 →予算節約のためのChromebookは論外。プロジェクターの活用と多角的な活動の関係性は？ ・全体を通して 同じようなことを繰り返し買っているだけで具体策が書かれていないのでイメージしづらい |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 30 | オンライン | <p>前提として、https://youtu.be/OdcVvYoOFkA「日本って何だ、本田由紀著」「教育は何を評価してきたのか 本田由紀著」くらいは理解してから、計画してください。</p> <p>これまでの課題やこれからの子どもから大人になるまでの必要な流れをどこに問題あるかなど、共有がなければ、計画問題も見えてこないと考えます。再編計画を通して、住民に子どもが、地域社会の共有財産だという認識を高めるような仕掛けが必要です。その中から子どもの意見を拾う努力や、先進的な教育をやってる島根県など研修を市民を巻き込み計画することで、我事化することを望みます。そのためには、牧之原市は今後どのような町の方向性なのかを明確に示して欲しいです。</p> <p>今の教員のブラック労働環境や中教審の指針に従う向きも独自性を感じません。 https://youtu.be/pmvlBkKqrtI 化学物質過敏症についての動画解説です。</p> <p>私は、症状有りませんが、計画の中に何も触れていないので、このような子どもが増えていることも理解して、対策が必要です。給食有機栽培食材にすることで発症を抑えることもできます。国の有機推進政策も有るので、地元農家と協力して、地産地消で地域内でお金が周るような仕組みは必要です。災害対策としても流通距離が短いのは大切です。遺伝子組み換え食品は今、表示改正あり、識別が難しくなっています。今後ゲノム編集植物という新しい形で、流通してきます。そのような仕組みを理解した人材活用も給食調理担当には必要だと考えてます。</p> <p>https://youtu.be/tW-4y4RiQyw 食材の安全についての動画です。 https://youtu.be/At4RR-N2vx0 有機給食の可能性解説です。</p> <p>ITC活用が増えていますが、デジタル活用の狙いが、デメリットai企業に使われるコントロールされる。にならないようにしなければなりません、目からの動画情報だけでは、記憶に残りません、心と身体の発展に寄与しない、デジタル教育の狙いを見極めることが必要です。</p> <p>https://youtu.be/WSS6XtPp_jQ 「堤未果著 デジタルファシズムNHK出版社」が参考になります。</p> <p>能力評価については時代により変わります。今だに、前ならえとかやってるのならかなりヤバいと思いますが、今後の能力について、国際標準はどこか理解必要です。</p> <p>https://youtu.be/qSmO0lsGe8s 学力が高い子どもであっても、知識の記憶力に終始し、やはり人格のゆがみがもたらされている、という議論が展開されている。自分も幸せに生きることができ、他の人も幸せに生きることができることを追求する学力が、ほんものの学力だということ。そしてそれは当然のことながら、人間社会の平和と発展に結びつくものだということです。坂本光男1993年著</p> <p>学校的能力としての学力は、可変的でありかつ一元的に高低で把握されるものとなっただけでなく、ほんものの学力は個人と社会に関する無限大の価値と結びつけられていった。それは結果として、学力の垂直的序列化の上方の極を、どこまでも遠く引き伸ばすように作用したのである。教育は何を評価してきたのか。教育は何を評価してきたのか 本田由紀著2020年 https://youtu.be/Q9pZZcV2MWg こちらは、少人数学級の良さについてです。</p> <p>自然、里山の森が身近にある牧之原市だからこそできることとして、自然や生活に関する知識、技術が身につく。多種多様な非認知能力が育まれる。自然と共鳴できるようになる。自然や文化の力を借りた教育。自然のなかでは統治者にならなくてすむ。自ずと理想の教育構造が得られる。教育の新しい視点が得られる。地方と都市部の格差解消につながる。自然との共存の可能性が広がる。これからの時代における教育的な課題解決と環境保全的な課題解決と社会構造的な課題解決の結節点に、森のようちえん的な、自然を活かした教育の場は必要だと感じます。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 31 | オンライン | <p>● 校則のあり方について検討してほしい 昨今、各地で校則のあり方について議論が為されているように、これまでの校則がどういう意図で作られたものなのか、現代の子供たちの権利を守りながら有効にまとめられたものなのか、新設される学校でもよく考えてほしい。 例えば、髪髪服装の自由化。制服はあってもいいし、なくてもいいが、もしあるのであれば、スカートやスラックスの選択をできるようにしておく、など。</p> <p>● インクルーシブ教育を充実させてほしい 男女平等は当然のこと、いろんな国籍の人や障害のある人も分け隔てなく育つことで、子供たちの多様性への感じ方もかなり変わるはず。 私自身、子供の頃クラスにいたカタカナの名前の子は“外国人”ではなく“同級生”として認識していたし、何かが違うとも思っていなかった。また、大人になるまで障害のある人とほとんど交流がなかったため、今大人になってから交流する時には身構えてしまうことや気づきが足りなくて後悔することもある。新しい学校でそういった触れ合いができれば、未来の子供たちはもっと優しくなれると思う。 もちろん、言語の壁や体の機能の壁があるかもしれないが、なるべく授業内容も一緒にできるものになっていると理想的。</p> <p>● 図書室の機能を充実させてほしい 本を読まない若者が増えているように感じるが、それは子供の頃に素晴らしい読書経験がなかったからではないかと思う。 様々な本を読むことで語彙も増えるし、エンパシーも身に付くし、良い本に出会うことはとても大切なことだ。 新しい図書室では、本に出会うための機会をたくさん設けてほしいし、外国語の本を置いたり、読むのは苦手だという子供のためにオーディオブックを用意してみたりと、工夫してもらいたい。</p> <p>● 体験学習の機会を増やしてほしい 子供の頃は興味もあつたし挑戦できたのに、今となつては敬遠していることも多い。それは成長の過程で9年のうちにもっともっと経験していたら違っていたかもしれない。 例えば、校内に畑を作ってみんなで年間通して野菜や果物などを栽培してみる。植物や土に触れたり、虫や動物に出会ったりすることで広がる世界もある。自分たちで作った食材で調理したらもっと食べ物を大事にできるようになる。 市内には様々な企業もたくさんある。そういった企業の見学や体験授業も増やしてほしいか。お茶農家や製茶工場で牧之原市の名産を知ったり、市役所や消防署などの公的機関で働いている人たちの大切さを学んだり。空港では飛行機を見たり、他県や海外への旅を夢見たり。飲食店で食に興味を持ってもらうのもいいかもしれない。 スポーツ施設もたくさんある。サーフィン、テニス、スケボーなど、体育の授業やクラブ活動(あるのかはわからないが)では体験できないものをきっかけに面白さに気づくこともあるだろう。</p> <p>● 多国籍なALT&外国語が話せる日本人の配置 最近どのような国籍の人がALTとして配属されているのかよく知らないが、ALTの方も複数いて、さらに欧米だけでなくアジア、アフリカ、南米などいろんな国の人が入れば、多様な価値観を身に付ける良いチャンスになると思う。授業は英語かもしれないが、普段の生活で触れ合う言語は英語のみじゃなくていい。 それに加えて、そのALTの方々と普段から外国語で話せる日本人と一緒にいる環境も大切ではないかと個人的に感じている。英語の先生だけど、英会話は苦手という人も多いと聞く。それだと、授業で教える英語しか話さないし話せない。それを見ている子供たちは、やっぱり英語は“授業で学ぶもの”であつて、“いろんな国の人とコミュニケーションをとるためのツール”であるとは思えないんじゃないだろうか。だからこそ、普段の生活から英語が聞こえる状態があつたらいいと思う。 せっかく新しく学校を1から作るということなら、今までのそれぞれの学校のあり方を見直して、これからの子供たちが楽しく健やかに育っていけるような環境を整えてほしい。未来の価値観を想像することは難しいけれど、子供の権利がきちんと守られて、学んだり経験したりすることが子供たちの未来に繋がっていく、そんな学校になると親として私も嬉しい。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 32 | オンライン | 将来、地元自慢のできる子供達が育つよう、ここ牧之原でしか出来ない体験ができる義務教育学校を希望します。具体的には、海が自慢の牧之原市らしく、マリンスポーツ、釣り、砂の造形、ウミガメ保護活動、ワカメ獲りなどを体験できる授業があれば面白いと思います。特に、牧之原市ではサーフィンが盛んなので、サーフィン授業や、横乗り関連でスケートパークなども校内にあれば面白いのではないかと考えます。 |
| 33 | オンライン | 動画を見させていただきました。その中で疑問に感じた事を書かせていただきます。 各教室や図書館、グラウンドや駐車場など考えて敷地面積はどれ位になるのでしょうか？ 大き過ぎることはないのでしょうか？ 義務教育学校について ○子どもの成長は学校教育が始まった当初より2年程心身共に早くなっているのとどう関係があるのか知りたいです ○節目をつくりやすいとはどういう事なのか？ ○学校判断で特色ある教育の学校判断は市ですか県ですか？1つの建物単位ですか？ ○幅広い年代の交流ができるとは人数的に可能なのでしょうか ○支援の方法はどう考えていますか？ ○文科省の1学級35人制は現状子どもと接する先生方はどう捉えていますか？ ○個に応じた指導とは具体的にどういうものなのでしょうか？ ○徒歩の距離2.5キロと決めた基準は？実際低学年が荷物を持って歩く距離にしては長いスクールバスではなく市全体を運行する市バスを循環運行させるのが市民にとってのメリットだと思う コミュニティスクールを今後持続させていくためにも市民の協力が必要であって、納得させる説明会ではなく市民との話し合い協働がもっと必要だと思う |
| 34 | オンライン | 一度説明会へ参加しましたが、生徒へのメリットをととても強く主張されていたのが気になりました。 そんなに理想通りになるかな？と疑問を持ちました。私個人のことになりますが、団体行動が苦手でした。そして、中学校の時、上級生から目をつけられ、呼び出し説教？など多々ありました。沢山の生徒がいる学校よりも田舎ならではのこじんまりした学校も良いと思っていました。説明会に参加した時にもお伝えしましたが、教室の配置などが気になります。小学校6年くらいから中学校2年くらいまでは特にかかん時期で上級生とのトラブルが起きやすくなると思います。なるべく接する場が近くない方が良いと思うのです。 小学校の卒業式、中学校の入学式などもなくなるのですよね？ とても寂しく思います。 |
| 35 | オンライン | 学校再編計画(案)の説明ビデオを観ました。 うちの子は既に高校生ですが、こんな学校に通わせたと素直に感じました。 校舎が老朽化している上、世の中がこんなに変化しているので、それらに適応している学校を考えていくことは当然だと思います。 小中一貫教育を行う義務教育学校という新しい学校にも課題等があるかと思いますが、今の学校にも多くの課題があります。我が子が就職して牧之原市で家庭を持ったら、その子供たち(孫です！)はこの新しい学校に通うことになるので期待をしています。夢のある計画となって、通わせたいなあと思えるような学校づくりをお願いします。 |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 36 | オンライン | <p>学校再編計画を見させていただきました。私は将来ひきこもりにならないよう社会的自立ができるようにとフリースクールを立ち上げました。フリースクールを開所している者としては、不登校児童生徒に対する不安が増大していきます。全国でも増え続けている不登校児童生徒、牧之原市の実態は分かりませんが多分増えていると感じています。学校が大きくなるということは、良い面もありますが、この子どもたちにとってはどうでしょうか？更に増える可能性も秘めていると思います。静岡新聞でも不登校支援について4回に渡って連載されていました。再編に対して不登校又は行きしぶりの子ども達に対する支援が見えてきません。</p> <p>文部科学省から教育機会確保法が2017年に成立しています。この中で基本指針の一つでこのように書かれています。支援に対しては、登校というのみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。なお、これからの支援は、不登校児童生徒の意思を十分に尊重しつつ行うこととし、当該児童生徒や保護者を追い詰めることのないよう配慮しなければならないとあります。これはほんの一部の紹介です。適応指導教室フルールもありますが、選択可能な居場所づくりとして校内にも別室登校ができる部屋の設置や、不登校児童生徒の専門の職員の配置など目に見える支援が必要ではないでしょうか。また、低学年には学習支援サポーターがつくとありますが、学習支援のみならず学級運営のためにも担任が一人では大変だと思うので、状況に合わせたサポーターをどの学年クラスにつけるなどの配慮も必要と考えます。他県では色々な取り組みがなされていて公立夜間中学等も設立しています。今までと同じ視点ではなく様々な角度から取り組んでほしいと考えます。</p> <p>先生たちに学校教育確保法について再度意見交換をしていただき、より良い学校を目指していただきたいと思います。牧之原市の未来の子ども達のための学校づくりを期待しています。</p> |
| 37 | メール | <p>つい最近までこの統合計画を多くの市民が知っていませんでした。ギリギリになって説明会などを開いていますが、これでは足りません。</p> <p>また、検討委員会では、専門家や教員の占める割合が少なく、素人集団(委員男経歴が未公開でしたから)でした。このような大きな計画には、たくさんの専門家や教員がかかわるべきです。特に、小学生についての議論が、その特殊性を踏まえていません。初等教育の専門家がいなかったのではと危惧します。保育と同様初等教育はその専門的な知識や経験が必要です。それにほとんど配慮がないのです。</p> <p>また、カリキュラムはどうなるのでしょうか。例えば、今は、小学校では1時限45分となっています。2時間目と3時間目との間の休み時間は20分です。それに対し中学校は1時限は50分、休み時間は10分です。この時間の問題さえ説明されていません。教職員の配置や人数も分かりません。あげれば切りがないほど、教育の具体的な内容は棚上げ状態です。</p> <p>さらに、校舎の建設費も明らかではありません。国から半分出ても、後半分は市の負担です。市の負担がどの程度あるのかはっきりさせて欲しいです。</p> <p>小規模校の関係者は市の中で少数派です。結局、多数が住む人たちの意向が、結果となってしまうこともフェアーではありません。多数決で決めるのも理不尽です。1970年代の中学統合も、少数の中学の生徒の通学のことが配慮されませんでした。イジメ、不登校もかなりありました。また、このような大規模校に少数の幼稚園児や保育園児が入学すれば、どのようなことがあるかは、考えられていません。昨年の市議選ではまったく争点になりませんでした。もっと、教職員を含めた丁寧な説明と話し合いを求めます。</p> <p>(仮称)未来の子どもたちのための新しい学校づくり(案)について</p> <p>この文書を読むと「あれ？」と思うことがたくさんあります。例えば冒頭部分に想定される未来の市の人口、児童・生徒数のグラフがあります。これから急速に子どもたちの数が減少することが分かります。だから学校再編はしなくてはならないと言いたげです。また、校舎の老朽化も進んでいるという表も載っています。しかし、8ページまで行くと「この学校再編は、学校の適正規模を保つために、小規模校を適正規模に統合することが主な目的ではありません」とあります。それで、この計画の意味がわからなくなります。同じ8ページに統合によって子どもたちにつけたい力が「次代を切り拓く力」だと書いてありますが、なぜ小中一貫校がそのような力をつけることができるのかの説明はありません。後で出てくる、「切磋琢磨論」はそのことを言っているのかもしれませんが、以後もなぜ小中一貫校でなければならないかの説明がありません。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|----|---|
| | | <p>さらに同じ8ページに「次代を切り拓く力」を育むために、「コミュニティー・スクール」を作ると書いてあります。しかし、このような広域の学校区でいちから「コミュニティー・スクール」をつくるのは、並大抵ではありません。すでに、コミュニティー・スクールは市内の小規模校で成熟したものがああります。統合はこの貴重なコミュニティーを破壊することになります。だから、コミュニティー・スクールを作るとは、一貫校を作る目的ではないといえます。</p> <p>また9ページの、クラス替えができることもあまり意味がないでしょう。これはここには書いてありませんが、クラス替えがあると、イジメを抑制できるという俗論が背後にあります。もし、クラス替えでイジメが抑止されるのであれば、大規模校では低減することになりますが、そういうデータがあるのでしょうか。イジメはそう単純なものではありません。むしろ、データはありませんが、教員の目が届きにくい小規模校の方が良いと思えます。</p> <p>同じ9ページには、「中一ギャップが緩和され」と書かれてありますが、これもお間違いではないでしょうか。大都市圏では、小学校までは公立、中学校は中高一貫校へ進学する比較的学力が高い子どもが抜けてします。それ以外の子どもが複数の小学校から公立中学校に進学してきます。なかには不本意な入学生もいます。それがギャップにつながるのです。また、地方では（牧之原市など）、1970年代に多くの中学が統合されました。子どもたちは小さな小学校から大規模な中学へ通学せざるを得ませんでした。近くの中学校から遠い中学校に登校することを強いられました。つまり、1970年の中学の統合に大きな問題があったのです。中一ギャップは、教育行政が生み出したものです。榛原、相良中学では先生方の奮闘にもかかわらず、問題行動が多発したのを記憶している人も多いのではないのでしょうか。</p> <p>さらに同じ9ページに「教科担任制によって専門性を持った教員が授業を行うことで、分かりやすさと同時に学習のつまずきに対して丁寧にかかわって指導することができ、子どもたちの学力の向上につながる」とあります。初等教育の免許がない教員が小学生を教えるのは危険だと思います。小学校では教員の教え方が大切で、専門性はそれほど意味がないでしょう。むしろ中学校の教員が教えることで、小学生の中学校化を多くの教育学者は心配しています。不登校や学力の停滞が起こるのではないかと思います。</p> <p>また、「9年間の個の学びや育ちを全教員が共有する」と書かれてありますが、これも俗論です。大規模校で千人近い子どもたちのことを全教員が共有することはできません。大規模校では他学年まで子どもたちのことを理解することはできません。</p> <p>10ページの「みんなの学校」は小中一貫校にするより今の状態こそみんなの学校であると思います。13ページの「教職員が働きやすく」するならば、小中一貫校は避けるべきです。それよりも、少人数学教を実現した方がいいでしょう。これは、教員の声を聞いていない証拠でもあります。</p> <p>15ページの学校規模のことでは、「切磋琢磨論」と言われるものが登場します。子どもたちはそれだけでなく学校では競争をさせられています。全国学力調査で比較されるため、教員は前のめりになりがちであり、学校はおおらかさを失ってきたという指摘があります。「一人一人の多面的・多角的な思考力・表現力等」を伸ばすためには1学年3学級以上とすると書いてありますが（8ページの文言と矛盾）。名前も覚えられない児童・生徒がたくさんいて、子どもたちはのびのび出来るのでしょうか。のびのびできない場では、一人一人の多面的・多角的な思考力・表現力を発揮できるはずがありません。</p> <p>17ページの「牧之原市に住みたいと思う人を増やす」ことは小中一貫校ではないと思います。むしろ、意識の高い家庭では、私立小学校へ入学させるでしょう。これは伝聞ですが、牧之原市の小中一貫校を知った若い世代が、牧之原市に住むことをやめたというのです。18ページの「日本語指導をバイリンガル相談員」とは何か分かりません。ベトナム語やポルトガル語のバイリンガルを確保できるのか甚だ疑問だと思います。</p> <p>19ページの特別支援のことには誤認があると思います。例えば、自閉症スペクトラム障害の子ども同士では、同じ障害を持っていても、同じ障害と自覚することができません。だから、複数いたとしても意味はないのです。それよりも、小さな学校で、教員が見守る方が安全でしょう。</p> <p>22ページの少人数指導は、意味不明です。少人数なら、今の小規模学校ですべてできています。小中一貫校にする必要はありません。また、「クラス内で分ける」ということが、習熟度で子どもを分けることを指しているなら、やるべきです。少人数学級であればそれは必要ありません。</p> <p>23ページ、通学手段に「スクール・バス」のことが、有償か無償かをはっきりさせないのは無責任です。坂部の中学生たちは仁田坂を上り下りすることがかなり危険な状態でありました。事故も起こっています。また仁田坂を越えた後に、グリーンパルの坂道を上るのは、さらに危険が増加します。「安全・安心」とかけ離れています。</p> <p>27、28ページに「柔軟」という言葉が出てきます。もしそれが本意なら、この計画に対してもっと柔軟に市民の意見を聴いて欲しいと思います。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| | | <p>以上のようにとてもじゃありませんが、素人の作った計画としか思えません。検討委員会のメンバーの経歴さえプライバシーを理由に公開されていません。もし、専門家がかかわったならそれを公開すべきです。学校は学習をする場です。学問的な観点から発言すべきです。これが「(仮称)未来の子どもたちのための新しい学校づくり(案)」への意見です。</p> <p>昨年(令和3年)12月に行われた「牧之原市学校再編計画 地域説明会」の記録がまだアップされていません。これを公開せずしてパブリック・コメントを締め切るのは、強引すぎます。アップして一ヶ月はにおいてパブリック・コメントを締め切るべきです。</p> <p>また、市は総務省が提出させた「公共施設等総合管理計画(公共施設を今の5割程度に減らす政策)」によって小中一貫校の計画を行っているのは明らかです。学校を再編すれば、国が校舎の建設費の50%をまかなうというものです。しかし、50%は市の負担となります。その資金を使って、老朽化した校舎は改修し、文房具や楽器、カバンなど教科書以外の教材を貸与したり、給食の無料化など保護者の経済的負担を支援することに使えば、子育てをしやすい市として移住してくる家庭もあるでしょう。</p> <p>校舎の老朽化の問題も1964年開通した東海道新幹線はまだ現役です。安全性を常にチェックしているからです。学校の建築物もJRに見習って点検を怠らず使っていけばいいと思います。小中一貫校を進めることは、少子化対策に背中を見せている姿勢だろうと思います。市は、少子化対策に打ってでるべきです。</p> |
| 38 | オンライン | <p>学校再編で一番心配なのは通学方法です。現在、小学校から自宅まで片道3kmあり、登下校、全て車で送迎をしており、仕事にも影響が出ています。最近、高齢者ドライバーの事故や性犯罪などのニュースが多く、また、通学路にお手洗いを借りることができるコンビニもありません。再編をした場合、スクールバスを出していただけるのかとても心配です。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-----|---|
| 39 | 意見書 | <p>「牧之原市の学校再編を考える会(仮)」では、牧之原市が令和12年度(2030年度)までに義務教育学校2校の開校を目指すとしている学校再編計画に対して、市民の対話が進んでいないことを鑑み、令和4年1月29日(参加人数13人)と2月6日(参加人数20人)に会合を開き、自由闊達にゼロベースから意見交換を行った。現在の学校再編計画に対して以下の通り、意見を提出する。</p> <p>校舎の老朽化・少子化の中で現状維持が難しく、多様かつ急速に変化する教育に対応し、全ての子どもたちに適切な教育機会を提供するという点から、学校の再編が必要であるものと思われる。</p> <p>この計画においては、牧之原市の活性化やまちづくり・公共施設管理と密接な連携・取り組みが前提とされているのもかわらず、まちづくりの方向性や地域の在り方・VISIONが示されていない。そもそも、現在の計画はコンパクト化・集約化を前提とするものであるが、それ以外の代替案の検討もなされずに一択で議論を進めることが、懸念や不安を大きくしている。</p> <p>この点については、榛原・相良各一校ずつ以外の再編計画や、地域に多様な教育施設を併設するなどの複数案における費用対効果、メリット・デメリットを比較した上での議論が必要ではないだろうか。また、DX(デジタルトランスフォーメーション:デジタル化による変容)が進められる中、今後10年でさらに教育現場が変容することが予想され、また選択肢は増えてくる可能性が考えられる。</p> <p>牧之原市の学校再編計画が実行されることにより、子ども達のみならず地域社会に大きな変化が起こることになるため、そこには必ずメリット・デメリットが存在するはずである。学校規模が大きくなることでより多様な教育の提供が可能となり、小さい学校で存在したさまざまなリスクが減る可能性がある。しかし、今現在もいじめや不登校などの多くの問題が存在しており、それらの問題に対応しきれていない現実がある。また、大きな学校になることで生まれる懸念や不安も多い。たとえば、学校・学級規模が大きくなることで、多様な体験学習や主体的な学びが難しくなること、また委縮してしまい事故を發揮できない子どもたちが存在すること、教師の目が細かいところまで行き届きにくくなることなどが上げられる。加えて、すでに教師のオーバーワークの問題もある。このような大きな学校になることのデメリットを最小化し、メリットを最大化していくため、様々な視点からの検討が必要となる。</p> <p>学校や行政に委ねるのみではなく、地域の活動、多様な教育、支援を提供する活動と一体となって取り組むことが必要であり、また子ども達の心の専門家や発達の専門家などの意見を取り入れて、今後の学校計画のあり方を作っていくこと求められる。</p> <p>最新の計画ではこれらの活動に言及はされているものの、具体策は見えず、その実施主体、体制も現実的とは思われない。これらの実施計画について地域、市民の声を集約し、「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえて丁寧に進めていくことが求められる。</p> <p>上記のように、各種検討や議論が不明瞭、不十分なまま、一方的に決められていくことに対して、現在の計画に白紙委任をすることはできない。対話によるまちづくりを掲げる牧之原市だからこそ、このような議論を重ねて計画を充実させていくことを切に要望する。</p> <p>学校再編計画において、以下の点を要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 子どもたちの意見を聞き取り入れること 一 現役の教師たちの意見を聞き入れること 一 他の代替案との比較を示すこと。(規模人数、財政他含む) 一 地域の今後のまちづくりと連携したVISIONを示すこと 一 地域社会の活動(地域における生涯教育や多様な教育の場など)との連携・支援システムの構築をはかること。 一 安全な通学の確保、再編による長距離通学による負担や影響をなくすこと。 一 画一的な教育を避け、少人数クラス制の導入や活動の規模を意識することで、一人ひとりにきちんと目が届くようにし、子ども達が個性を活かして成長していける教育や環境を確保すること。 一 教育や社会の多様な変化に柔軟に対処していけるような体制をとること。 一 上記のような点はすでに計画に盛り込まれているが、単なるスローガンではなく、これからの活動が着実かつ具体的に実現され、そこに市民や地域が参加できる具体的な枠組みを構築すること。 |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 40 | FAX | <p>・計画全体案について Qこの案は、だれ等が、案としてまとめたのか。 →教育の専門家、学識経験者(学校教育等の研究者、実践者)などがいて、作成したとは思えない。市の学校のこと、子どもたちのこと、保護者のこと、地域の方々の実態が見えていないし、理解しているとは到底思えない程、内容が貧弱で、説得力がない。空想論に過ぎない。この案ですすめられたら、牧之原の存続に関わる。不登校児が増え、地域も元気がなくなり、若者が離れていき、人口減少がさらに、加速する。現に、転居を考えたり、転居した人もいようだ。</p> <p>対策案： ①牧之原市が唱えている「市民と対話と協働の新しい学校づくり」を目指して欲しい。「市民への説明会」に一回参加したが、牧之原のことを考えた熱い意見が交わされていて驚いた。是非、反映してほしい。今は、「対話と協働のまちづくり」を唱って進んでいる方向にはない。もっと多くの市民の意見を大切にしてほしい。暗に掲げられた「新しい学校」「みんなの学校」には、到底なりえない。 ②そもそも、「学校」は、そのあり方が大きく変化している。「学校」ではなく、オルタナティブ教育(ワンスクールなど)も選択肢の1つであるし、公立学校のなかにも、通知表がなかったり、時間割を自分たちで決めたり(イエナプラン)校則がない学校もめずらしくない。この案の「新しい学校」「みんなの学校」は、時代により遅れている。提案者は、もっと、時代に沿った学校、教育の在り方を知って、再考し直して欲しい。</p> |
| 41 | オンライン | <p>学校再編計画が進められていますが、まだ8年後ということもあり、現実的に受け止められないということがありメリット、デメリットもよくわかっていないのが現状です。しかし、学校再編は大きな事だとおもいます。子育て真っ最中の私たちには、何がどのように進められているのかぼんやりしかわかっていません。メリット、デメリットを明らかにして知らせてもらい、アンケートをとるなどして、よく考えて決定し、進める必要があると思います。なぜ学校再編するのか？その意図は純粋に子どもたちの未来を考えて一人として取りこぼすことなく幸せにつながるものなのか？困る子どもは出てこないか？困る教師は出てこないか？とても大切な事だとおもいます。たくさん的人生を背負って計画を見直したり進めたりしてもらいたいと思います。</p> |
| 42 | オンライン | <p>萩間は牧之原中学へ通学したらいい。津波危険地域へわざわざ通学することは無い。それと、変える気がないのに意見を募集する必要ないのでは？</p> |
| 43 | オンライン | <p>子供は地域の宝物なので、計画書にあるような内容が実際出来るのであれば有り難いと思います。しかし、そもそも高台移転が必要か？という疑問もあります。1番は地震、津波という災害の被害を防ぐ事でしょうが、運良く学校にいる時間に被災すれば安全でしょうが、早朝や夕方以降であれば意味はありません。それなら、今平地に残る学校の中の幾つかポイントとなる建物にお金をかけて改築、高層化し、万が一の事態にはここを市民が生き残るための防災拠点としてある活用する方が現実的であり、今ここに住む私たちの生活の将来の安全ともリンクします。また、小中一貫の良さもあるでしょうが、今私たちの町が抱える大きな課題である、少子高齢化と、市外進学者が市内に帰りにくい現実を考えた時、多くは高校から市外進学校や、私立高校に進み地元を離れる子供が多く、そうすると就職も進学も地元愛も地元意識も持ちにくく地元が目が向きません。現状、田舎の公立校は、生徒減＝教師減で、どんどん競争力を無くしてしまっていると聞いています。生徒減の比率で教師を一律に減らすのではなく、市が予算を付けてでも、教師を育て、外部のプロや市民も手伝って魅力ある中高一貫校とし、進学も就職も強い学校を作る事が望ましいと思います。コミュニティスクールの話にしても、現実的に平地に住む人が圧倒的に、高台に移転してしまった学校へ、これまで以上に地元市民が入って関わるというのは非現実的だと考えます。市民は近い将来皆高台移転をさせる(もちろん市が費用を負担して)構想があるのでしたら、出来るのでしょうか… そもそもの話をひっくり返すようで恐縮ですが、小中一貫も高台移転も、一市民としては疑問であり、賛成できません。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 44 | オンライン | <p>牧之原小中学校は現時点で対象外なのは仕方のないことかもしれませんが、もしこのまま新しい学校の対象にならなかった場合は、方針だけは同じ条件にして頂きたいです。施設の改築には限界があるとは思いますが、ALTの常駐やICT活用など受けられるサービスは同じ条件として頂かないと差別感を感じます。</p> |
| 45 | オンライン | <p>1歳と3歳のこどもがいます。2030年に開校した場合、こどもたちは小学校6年生と4年生の年にあたります。今回の計画で1番不安なのは自分たちの子供の世代は小中学校の途中で統合になるということです。9年間でより質の良い教育を、というのは理解できますが途中で変わる子供たちからしたらいい迷惑です。白紙に戻して欲しい、もしくは自分たちの子供が高校に進学した後におこなってほしいというのが本音です…</p> <p>このまま計画が進むのであれば途中で環境が変わる子供たちのケアを第一に考えて欲しいです。</p> <p>またカリキュラムが途中で変わってしまうと子供たちは混乱し、学力は低下する可能性が高いと思います。統合するのであればこれから小学校に入学する子供たちは統合校のカリキュラムに合わせた内容で授業を進めてください。統合した後に授業についていけない子が出ないようにお願いします。</p> <p>全国的にも教員が不足していると耳にしますが統合した場合、今よりも教員数は増える必要があると思います。また先生方も統合直後は慣れないことが多く激務になることが考えられるのでフォローに当たる先生がいるようにお願いします。</p> <p>学校再編にあたりコストがかかるとは思いますが授業料は現状より多くならないようにお願いします。子育て世代の負担をこれ以上増やさないでください。</p> <p>バス通学についてですが料金の設定はこれから、とありますが市で負担してください。</p> <p>子供たちが成人したときに学校再編計画は失敗だった、とか再編のときにあたって災難だったとか実験世代とか言われなないようによろしくお願いします。</p> <p>今後もこのように保護者の意見を聞く場を定期的に設けてほしいです。また決定事項等があったら都度、報告をお願いします。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 46 | オンライン | <p>学校再編の背景にある少子化・人口減少・高齢化などの社会情勢は、歴史的に類をみないものだと感じます。ですから、学校再編は非常にデリケートなものであり関係者の心労をお察しします。簡単ではありますが、パブリックコメントをさせていただきます。</p> <p>学校再編については、ハードの問題がクローズアップされています。それは当然ですが、実はソフトの問題のほうが大切なのではないかと考えます。特に、現場の先生方に「牧之原市で教員がやりたい」と思わせるようなソフト面での政策が必要だと思います。</p> <p>静岡県で教員をしている先生は、勤務地を大まかに希望できると聞きます。では、牧之原市を希望する先生はどのくらいいるのでしょうか。多いとは言えないと思います。残念ながら先生方にとって牧之原市は僻地であり、勤務を積極的に希望する地域ではないというのが現実ではないでしょうか。</p> <p>また、一般的に地域の文化レベルと子供たちの基礎学力には相関があると言われます。その点で牧之原市においては、子供たちの基礎学力が高いとは考えにくいこと（＝指導に難しさがある）が、牧之原市で働く教員の心象に与える負の影響は少なくないと思います。もちろん、むしろそれをモチベーションに変えることの先生も存在していると思います。</p> <p>その点で、牧之原市に勤務を命ぜられた教員のなかで「牧之原市に勤務できてよかった」と思う教員は卒直に言って多くはないと思うのです。</p> <p>しかしながら、「これからの牧之原市」においては、保護者も学校に対して協力的であるとか、行政のバックアップが優れているとか、先生方の挑戦を奨励し、失敗に寛容な土壌があるといった印象を与えることができれば、牧之原市で働きたいと思う先生は増えると思います。（また見方次第では牧之原市は、SDGsなまちであるという側面もあると思うので、新しい時代の学習資源にも溢れているとも思うのです。）</p> <p>そして、それが先生方のモチベーションとなり、自己研鑽を生み、他県や海外の学校や民間企業と連携したり、あるいは教育系民間企業のよい部分を公教育に取り入れたりすることで、豊かな教育が生まれ、延いては豊かな学習を生むのではないかと思います。</p> <p>そして、それが結局のところ「子供たちのためになる」と考えています。子供たちのためを思うからこそ先生に働きたいと思って貰う必要があると考えます。</p> <p>以上のように「牧之原市で教員がやりたい」と思わせるようなソフト面での政策がなければ、いくら施設を整えても限界があると感じています。</p> <p>例えば、大胆に事務を減らす勇気があるとか、複数担任が制度化されているとか、会議が効率的であるとか、BYODが進んでいるとか、こういったところが先進的であって始めて、先生方が積極的になり、優れた教育が出てくるものだと感じます。</p> <p>どうかハードとソフトが効果的に結びついた政策を。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 47 | オンライン | <p>学校づくりの基本方針については、賛成です。 ただ、計画を見ても今より魅力的で通わせたいと思いませんでした。ましてや、市外、県外からも通わせたいと思う人は居ないだろうと想像します。 私は、財政面や今後の人口推移を見てもある程度行政のサービスの減っていくこと、受け入れる覚悟はありました。それが今回の学校再編につきものです。 しかし、コミュニティースクールや共育といいながら地域コミュニティーの存在は置いていかれ、位置づけが明確ではありません。 教育の質も然りです。キャリア教育、ICT教育といっても、教育の質や提供されるサービスなど具体案はありませんでした。 通う子どもや大人・地域社会がワクワクするような学校計画ではないです。むしろ、不便さや不安が募ります。 人口問題についてもより悪化が懸念されます、地域に学校がないところに若い世代や人は住みません。学校があることで、人が住み、商店ができたり、地域が形成されるんです。むしろ、方向転換し、なるべく長く地域の学校に子どもたちに通わせられるように、地域に学校が残せるように、地域の人と学校が関係性を持たせられるように、計画を修正・練り直しを検討されませんか。不自由なところが少しあっても、地域の力やPTAのサポート、地域資源の活用で補えば良いじゃないでしょうか。いらぬ施設は、省けばいいんです。例えば、プール。30年前のように毎日夏休みに通うということが前提ではありあせん。泳ぐ能力をつけさせたいのであれば、むしろ地域のスイミングスクールに単位を取るという形で数回通うということでも代用できるはずですよ。ミニマムで小回りの効く学校運営が今求められているのではないのでしょうか。子どもたちにとっても、忘れ物が取りに帰れないぐらいの距離の学校なんて通いたくないはずですよ。今の計画では、個を生かせず、画一化した児童生徒の育成となり、地域特性を活かした教育環境づくりは難しいのではと考えます。そして益々、初等教育からの私立への進学が増えていくのではと思います。 個人的な意見としては、時代を担う子どもへの行政予算の投資は惜しみません、何より教育が重要であると思います。 素晴らしい学校がある牧之原と言われ、学校教育で移住者が増えるような、ユニークでワクワクする・良い教育が受けられる学校づくり望みます。 そのためには、市民としても是非協力したいと考えます。 以上より、計画の再検討を希望します。</p> |
| 48 | オンライン | <p>学校再編計画について、ご提案します。 合併し再編された後の基本的方針で示された内容で、具体的な学校像が想像しにくいと思います。それにより今後の議論の出発点が、個々で違ってしまい、後に「そんなはずではなかった」ともなりかねません。 学校像について具体的なご提案ですが、「ユネスコスクール」の加盟を念頭に議論されてはいかがでしょう。理念や基本的な行動が明確で、実践校などの情報から具体的な内容もわかりやすいと思います。国際理解・多様性・平和・地域など新設校が目指す学校像と重なる内容も多く、市が取り組む環境問題についても、子ども時代からの理解も期待できるのではないかと考えます。また、現在各校が掲げる教育目標とも重なる言葉や共通点が多く、SDGsへの取り組みやESDの具体的な学習など、ユネスコスクールへの加入は、地域の未来を生きる子どもたちに質の高い教育を提供することが可能で、教師の意識の向上も期待出来るかと思えます。以上、ご検討くださればと思いますご提案します。 失礼ながら、ユネスコスクールについては以下のサイトでご確認願えればと思います。 ユネスコスクール 公式ウェブサイト、 https://www.unesco-school.mext.go.jp</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|---|
| 49 | オンライン | <p>学校再編計画については、以前から機会があるごとに、市民全体への周知及び理解には時間が必要なので十分すぎるほどの対応が必要であるとの意見を述べさせていただいてきています。</p> <p>学校再編は単に教育の問題でなく、まちづくり、地域づくりの問題です。学校関係者、児童・生徒及びその保護者だけでなく、市内のあらゆる立場の人々が当事者意識をもってどんな地域をつくっていくのか考える場を設けて計画に反映していく必要があります。これは相当困難なことで、今示されている計画の日程では間に合わないと思います。もちろんこのパコメントコメントも大切ですが、さらに総力をあげて意見集約や協議の場の設定に努めていただきたいと思います。そして、その内容をできるだけ分かりやすく市民に伝えていただきたいと思います。</p> |
| 50 | オンライン | <p>他の自治体が同様の課題を抱えている中、丁寧にしっかりと進められています。各委員会等の場だけではなく、市民意見を聞く場をしっかりと設けるのは大変難しいことです。しかしながら、毎回の意見交換会において、段階をしっかりと踏みながら、参加者に合わせた資料提供が出来ていたこと、また職員の目的意識がしっかりとされていたことが、本計画の適切な進捗に繋がっていると感じます。意見交換会においては、なかなか未来の人口減に対して現実感を持っていない市民が多く居ることも現状です。予測のデータとはいえ、現実に対する意識づけを更にする必要性も、ご検討頂けたらと思いました。今後も、再編計画に合わせた細かな内容について、市民の意見を確認しながらの（出来れば今まで以上に幅広い、特に若い世代から）、より良い学校づくりを期待します。</p> |
| 51 | オンライン | <p>関西の方でも、地域の過疎化が進み小中一貫校で新しい学校をつくったが、その後5人に1人が不登校になってしまったという例もあるようです。理由は一概には言えないと思いますが、今まで集落毎の学校にて少人数でわきあいあいと授業を受けていたのに、突然マンモス校になり、授業についていけない生徒や大人数に馴染めない子が増えたとの理由もあるようです。今回の統合計画に反対ではないのですが、今までの少人数制で先生が一人一人に注目できていた集落毎の学校教育のメリットは大きいと思います。1人も取り残されずに、大人数の学校になっても先生が一人一人に目をかけられるような仕組みを作るのは大切な、と思います。</p> <p>また、今はブラジル人学校など日本語を話すのが難しい子達は違う学校に行かざるを得ないかもしれませんが、そのような子達もサポートできるような学校になれば、価値観の違う友達がお互いできて、よりインターナショナルな感覚を持った子供達が増えるのではと考えます。</p> <p>最後に、廃校になる既存の学校敷地についてはこれから検討して行くのかと思いますが、新たに何か商業施設や建物を建てるのではなく、むしろ何も無い広場があればいいな、と思います。NYのセントラルパークのようなイメージで、綺麗な芝生や木々がありピクニックや散歩、トレーニングなど海沿いから川沿いまでできたり、横須賀にあるうみかぜ公園のような、自然を活かしたマウンテンバイクコースやスケートボードエリアなどがあれば、自然豊かな牧之原らしさを出すことができるのではないかな、と思います。</p> |
| 52 | オンライン | <p>すべての子どもたちが主役の学校とあるが、不登校や学校に行けない状況にある子どもたちのことになぜ触れていないのか疑問です。具体的な対策案をお願いします。どんな子どもたちにも、勉強面、精神面フォローできるような対策をしてください。不登校児童や保護者のための相談できる、教師ではなく専門の人を学校に配置してください。ただ話を聞くだけのカウンセラーだけでなく、専門知識を持った、不安解消や解決に向けた前向きで迅速な対応ができる人が必要です。その窓口から、必要な治療やフォロー、関係各所への道しるべを示してほしいです。たくさんの友達づくりやたくさんの交流が、苦手な人もいます。こんな子どもにしたいと理想ばかりでなく、いろんな子どもたちがいることを知り、その思いに気づいてください。学校に関わる大人こそ柔軟な理解を持ってください。子どもたちがまず出会う大人、社会人は先生たちです。先生たちに余裕がなければ、子どもとのいい関わり方はできないと思います。先生たちにも子どもたちにも、苦しめない学校になることを願っています。</p> |
| 53 | オンライン | <p>牧之原小、中学校も小中一貫校に入れてもらいたいです。確定までにまだ時間があると思います。行政の方たちが話し合い動いてもらいたいです。</p> <p>多様性があり選択肢がある。保育園から中学校までずっと同じ1クラス。それはそれでいいところもあると思いますが、小中一貫校に入れてもらい多様性があり選択肢もあるなかで自分に合ったもの自分で選択して学んでいってほしいです。</p> <p>色んな経験ができ、色んな考え方ができるようになると思います。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 54 | オンライン | 決定するにはまだ早い。市民の意見を聞いてください。議会での議論、承認が必要です。 |
| 55 | オンライン | <p>学校規模を小さくするメリットがあちこちで語られ研究されている中で、今回の再編計画は、一人一人の子どもを丁寧に育てるという目線から見ると、必ず実現しなければならない課題がたくさんあると思います。（できないのでは、という疑念もあり、不安も大きいです）この計画を実行するならば、絵に書いた餅にならないよう、十分な予算をとって取り組んでいたきたいと願います。</p> <p>特に希望するのは、少人数クラスにすること、教師の人数を増やすことです。市民と共に創り上げていく姿勢で取り組んでいってください。宜しくお願いします。（市民には力を出してくださる方々が多くいらっしゃいます。たとえば、子どもをはじめとする参加型の萩間の杉の木を有効利用する案など。）</p> |
| 56 | オンライン | <p>再編案をプリントアウトして、読んだところ、以下の項目について説明がされていないので、疑問とともに、この計画の再検討、もしくは早期の結論延期を要求する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「いじめ」の問題がどうなるのか？ 2、不登校児、生徒の問題は？ 3、児童・生徒の学力、とりわけ「落ちこぼれ」については？ 4、特別支援学級、元学級への、取り組みは？ <p>1、「いじめ」の問題がどうなるのか 今の学校、子供の社会問題の中で、大きな域を占めるのは、「いじめ」問題です。今回の再編計画において、この大問題が、ほとんど述べられていないことに、がっかりしました。現在の小規模学校の、一学年、一学級の20名ほどクラスと、大規模校の40(35)名複数クラスの「子供のストレス」の差は明らかに、前者の方が少ない。それにより、目に見えないので、「いじめ」の問題が、昔のようなガキ大将的な単純化から、現在の、ネット等の複雑化になることは、明らかである。</p> <p>また、現在の小学校から、中学校への進学により、子供の環境が変わることで、子供間の問題が、リセットされ、新たな、中学校生活が始まり、「いじめ」も小学校からの引継ぎが泣くんばる可能性が大きい。</p> <p>しかしながら、再編計画での「小中一貫校」では、普通の進級と変わりなく、クラス替え程度による解決しか望めない。これは子供にとって、神学という大変化を失わせるチャンスを奪う不幸なことである。簡単に、小規模校では、一人の先生が、学校全員の顔と名前が一致できるが、再編計画学校では無理な話である。これは「いじめ」の芽を摘む、初期段階での、「声かけ」ができないことを意味し、重大事項になって初めて明らかになる結果である。「いじめ」の大問題を答申に、盛り込まなかった、現場管理職教育職員の感覚が全く分からない。</p> <p>2、不登校児、生徒の問題は？ 前項の「いじめ」の問題では、「いじめ」を主張する子供、親に対し、否定する教師、学校があり、問題は複雑化。深刻化しているのが、現状がある。しかし、「登校拒否」「不登校」の子供の人数が明らかになっているので、学校側も否定できないところである。だが、この客観的に明らかにできる、「不登校」のこどもの人数等全く触れられていません。一般的には、小規模校では少なく、大規模校では多いのが実情である。現在の2校の中学校では、各学年とも、一クラスに一人「不登校生徒」がいるのが実態である。再編計画、小中一貫校では、「不登校児童」が多数出現する懸念が大きい。この点からも、進学チャンスをなくし(学校生活変化)、普通の進級にしてしまうのは残念である。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| | | <p>3, 児童・生徒の学力、とりわけ「落ちこぼれ」については？ 再編計画により、近代的な教育内容になり、学力が向上することが予想されるが、問題は、それについていけない、「落ちこぼれ」と呼ばれる理解度の低い児童・生徒、の問題である。このことにも全く触れていない。残念である。教師のきめ細かい対応が解決の糸口のなるが、大規模校による学校運営、教師管理体制の、クラス担任、学年副・主任、複数教頭、校長制度には全く期待できない。唯一希望が持てる、「準支援学級」には、触れられていない。</p> <p>4, 特別支援学級、元学級への、取り組みは？ 残念ながら、今の学校教育においては、「障害児」は、全くの別枠で論じられている。エスティーディージーズではないが、すべての子供は平等に公教育を受けられるはずである。統合教育が理想であるのに、現在では、特別支援学校が、当たり前になってる。その中で、唯一光が見える、普通学校での、「特別支援学級(仲良し学級)」に論じている箇所少ないののがっかりする。大規模化すれば、本来入るべきでない「理解度不足の児童・生徒(落ちこぼれ)」が「特別支援学級」に入れられることが予想される。また、現在の学校で、運動会など行事等で元学級に、かろうじて受け入れられている子供が、大規模校になれば、学校行事の、大規模になり、「障害児」は全く別枠でしか受け入れられないであろう。残念である。</p> <p>以上の理由から、この再編計画に、疑問をし、早期実行に反対である</p> |
| 57 | オンライン | <p>未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画を読みました。希望に満ちた冊子と思いました。牧之原市の少子高齢化等の課題に対策するためだとは思いますが、再編後に出てくるであろう課題が冊子には記載されていません。現在考えうる再編後のデメリットとその対処法を公表してほしいです。その上で今一度市民の意見を聞いてほしいと思います。</p> <p>さらに以下の事を疑問に思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学級3学級以上とありますが、1クラスの人数がわかりません。1クラス20人程度の少人数学級が経験上児童にも父母にもなじみやすいと思います。 ・親世代の声や地域の人やこれから親になると思われる中高生の意見を把握しているのか疑問です。 ・大規模だと感染症やいじめの問題が起きやすく終息しにくくなりませんか。 ・片浜小学校閉校後の片浜地区の変化や地区民の意見を聞いてください。はりはら塾で旧片浜小学校に行くのですが、時計は当てにならないし(遅れているまたは止まっている)、廊下に埃が舞っておりトイレもきれいではない。子どもたちがいないとさびれます。 ・地域が広くなりすぎると地域で子どもを育てることが掛け声に終わることを危惧します。 ・学校が大きすぎると子供たち主体の学校にはならないのではないですか。いろいろな考えの子どもたちがいるので、少数派の意見は通りにくくなるおそれはありませんか。 ・学校は子どもたちの教育の場ですが、地域の避難所としての役割もあります。集約により災害時に距離的に市民が避難できないおそれはありませんか。 <p>自分は60台なので直接学校に関係ないといえますが、今の子どもたちが自分で考え行動する大人になれる学校を願っています。</p> |
| 58 | オンライン | <p>少子高齢化の時代で学校再編は避けられない課題です。2校にすることに関する不安は皆さん抱くでしょうし、細かい検討課題は、まだまだたくさんあると思いますけど、とりあえず2校に再編することに賛成です。</p> |
| 59 | オンライン | <p>財政面から仕方がない統合だとあきらめ、新しい学校でこそできる学びをしてほしいと思います。そして、そこに地域や市民との繋がりを作ってほしいです。</p> <p>学校再編で心配なのは、コミュニティスクールを中心に協力していただいているみなさんの活躍の場がなくなってしまうこと、地域の核となる拠点を失うことです。</p> <p>ですから学校跡地をコミュニティの場としても活躍してほしいです。そして、それをみんなで1から考えて自分たちで作っていく。そんな取り組みもしてほしいです。新しい学校が市民みんなの学びの場にもなるような、そんな提案を今後、仲間と共にしていきたいです。市政と市民と一緒に作る学校にさせていただければと思います。</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-------|--|
| 60 | FAX | <p>計画案を読みました。意見はたくさんありますが、特に重要と考える部分を意見させていただきます。</p> <p>①安心・安全を最優先してください。 ①現在浸水域にある学校の生徒を安全な学校へ移動できるようにしてほしい。 ②IV3にある学校の場所の条件2の削除を希望します。安心・安全な場所を最優先!! ③1校にすると防災が難しい</p> <p>②小中一貫教育は良いかもしれませんが、これは教育者（プロ）が判断してほしい。小中一貫校として1つにまとめるのは反対です。校長の専門が違います。</p> <p>③牧之原市の現状はⅡの図を見て分かりました。企業（働く場所）はあるのに、生活は他市へ行ってしまいますね。なぜ子育てをこの市でやらないのかの検証をしてほしいです。</p> <p>④若い世代を呼び込むには「少人数教育ができる牧之原市」が魅力的だと思います。自然豊かでのびのびと育てられる市のイメージが必要。大都市ではできないことです。市のビジョンが重要です。</p> |
| 61 | オンライン | <p>学校再編計画は内容を確認しました。 これからの時代対応としても新しく学校の環境を整えて学びやすい環境を目指すというのはとてもいいと思いました。 9年制度で良い点も多く感じますが、コミュニケーションを9年の学年でどうとっていくのかが気になります。今の時代だからこそその怖い面、例えばいじめなどそういったところに関してどういう対応ができるのか、また携帯電話などデジタル面でもどのように取り入れる制限など9年は大きく成長する過程で身につけるものなども変化していきます。それが9年の学年でどのような影響が出てくるのかそういった点も心配です。 また希望としては 習い事の環境を今様々色んなところに通わせている方が多いと思いますが、学校のクラブ活動のように新しい学びの場としてそういった習い事ができる環境の整備をして頂いて、子供達の成長に繋げてもらいたいとも思います。 新しい学校再編へ希望はありますが、それと同時に不安を感じる点もあります。どうか子供達のがのびのび健やかに学び過ごせる事を第一に進めて頂きたいと思います。よろしく願い致します。</p> |
| 62 | オンライン | <p>知人からこの学校再編計画を聞き、初めて知りました。牧之原市の公式ライン登録もしていますが、計画の情報、オンラインによる計画説明についてお知らせはありませんでした。 学校再編計画の情報は、一部の人にしか周知されていないのでしょうか？計画を知らない市民が多くいると思います。 もっと広く市民に周知していただき、大勢の意見を聞いてから計画をご検討いただきたいと思います。</p> |
| 63 | オンライン | <p>今までにない未来を生き抜く力を自ら育めるような学びを小中一貫校に期待します。今の在校生でも新しい学びに向けて少しずつ導入してもらえると嬉しいです。 現在の小学校区の地域や文化や伝統を学べるように工夫して欲しいです。 子供たちを地域で育てていくという気持ちをみんなが持てるようにするにはどうすれば良いか地域毎に考えて行きたいです。 地域のコミュニティ拠点として小学校の跡地が活用されるような仕掛けを地域のみならず考えて行きたい。そのためには絆づくり事業の継続が必要だと考えます。</p> |
| 64 | オンライン | <p>スクールバスの活用で一点集中型の学区を推し進めているようだが片浜小学校廃止で地域の熱を奪い地域コミュニティを奪った 貧乏を振りかざす市を知る親が子に牧之原愛なんぞ憚れる ほぼ冷めたならスクールバス廃止すら言い出しそうな疑心感 それよりも校舎を簡素化公民館や寺レベルの箱にして学区を細分化してはどうだろうか 教師の数や予算もあるだろうが 考える価値はあるだろうに 地域に生まれ地域に生きる意識を親が思い出し子供達に感じてほしいのですよ</p> |

■未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画（案）パブリックコメント意見一覧

| No. | 方法 | 意見 |
|-----|-----|--|
| 65 | メール | <p>旧片浜小学校と2015年辺りからずっと関わってきましたが、学校という建築上のカテゴリーにとらわれすぎない建物であるべきかと思います。全国に大量生産された戦後標準設計(1949)型RC校舎は、廃校になってリノベーションする際にかかなりの無理が生じてきます。</p> <p>最初から廃校後の事を考えるのも変な話ですが、「実際に考えてこなかったツケが今回ってきている」ことを踏まえれば、やはり未来のことを蔑ろにすべきではないと思います。具体的には、あらゆるプログラムに耐えられる建築、あらゆる設備・あらゆる改修に対応できる建物が必要です。設備の更新や強度補強など、維持費の問題も馬鹿にできません。</p> <p>それらを踏まえて、過去に例のない校舎の提示を全国に先んじてすべきかと思います。生徒と空間を更新したり、完全デジタル対応、サーキュラーエコノミー対応だったり、可変性を担保しながらコストを抑えて新しいものをつくることに挑戦してほしいです。</p> <p>高台移転は人口減少が激化する牧之原市において希少な一手です。どこにでもあるような学校を適当に建てて、そのチャンスを見逃すことだけはしてほしくありません。未来と全国を見据えた、責任のある設計を願います。</p> <p>コロナを経て都内の不動産は下落していくと予測されていますが、これは地方にとってまたとないチャンスです。私自身もコロナ以前まで東京に住んでいた未就学児を持つ身ですが、目立った活躍をしている学校圏は、都内からしてもとても魅力的です。教育施設は重要な地域拠点であり投資先だからです。</p> <p>かつての牧之原でも、C.A. ペリーの『近隣住区論』を細分化したような小学校単位のコミュニティが成り立っていましたが、現在の出生数(市全体で200程度)では夢物語です。現場では新しいコミュニティ形成が急務となっていますので、近隣住区論を更新するような地域拠点として小学校を位置づけることも鍵となってくるかと思います。具体的には従来の「閉鎖的な一元コミュニティ」を超克した、重層的な「マルチレイヤードコミュニティ」が目指せるのではないかと考えています。</p> <p>全国には歴史を更新してきた学校建築が多々あります。集落のような那覇市立城西小学校、「壁がない」ことで有名な千葉市打瀬小学校、L壁で空間を分けた宇土小学校、移住者殺到の流山市立おおたかの森小・中学校、寄宿舎付き校舎のChildren Village。サマーヒル・スクールやバウハウス校舎、ソーク研究所、ロレックス・ラーニング・センターまで含めてもいいかもしれません。それほどのインパクトを持つ学校を、ここ牧之原から出してほしいと心から願っております。</p> |